

回 覧												

大分西部地域まちづくりビジョン フォローアップ会議通信 第3号

発行：令和4年2月1日 大分西部地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

この通信は、「大分西部地域まちづくりビジョン」フォローアップ会議の内容についてお知らせするとともに、地域の現状や今後の取り組みについて共有していただくことを目的としています。

大分西部地域まちづくりビジョン
フォローアップ会議を開催しました。
令和3年11月1日(月) 19:00
大分西部公民館 多目的ホール

～議 事～

- ① 会議の位置づけについて
- ② ビジョンに掲げる事業の取組状況について
- ③ 意見交換
- ④ 今後の予定について

(委員) 西部地区自治会、青少協、老人クラブ、学校関係等、全11名



フォローアップ会議とは

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため市内13地域において、地域が目指すまちの将来像(ビジョン)やその実現に向けて取り組みをまとめた地域まちづくりビジョンを策定し、平成30年7月に市長に提言しました。

フォローアップ会議では、ビジョンの実現に向けて市民と行政が一緒にまちづくりを進めるため「行政に望むこと」「地域や私たちができること」をテーマにビジョンに掲げる事業の取組状況を報告し、その進め方や課題などの情報共有、意見交換を行います。

大分西部地域が目指すまちの将来像「自然と文化が共存 心躍る西部タウン」

<将来像実現に向けた4つの提言>

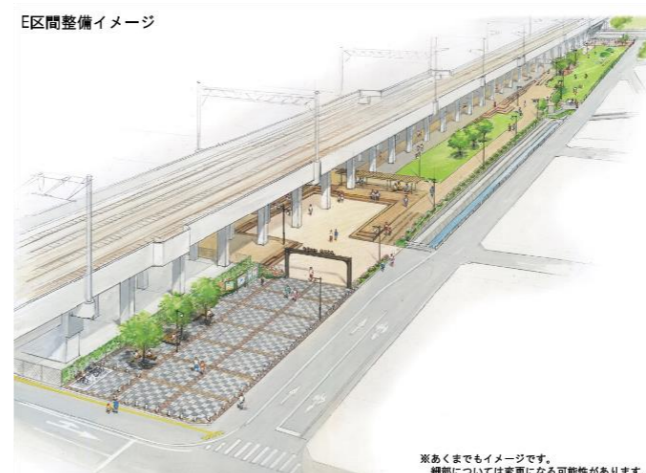
- 提言1** 暮らし/住み続けたい地域、住んでみたい地域づくり
- 提言2** 観光/地域資源を最大限に生かした観光振興
- 提言3** 教育・スポーツ/豊かな自然環境での教育、スポーツ交流の推進
- 提言4** 防災/巨大地震の発生に伴う津波への備え

□地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組について(抜粋)

会議では、大分西部地域まちづくりビジョンに掲げる提言毎の事業の取組状況について事務局から報告を行い、その後に意見交換をしました。

本通信では、提言毎の主な事業や意見交換の内容を掲載しています。

提言1 暮らし/住み続けたい地域、住んでみたい地域づくり



※あくまでもイメージです。詳細については変更になる可能性があります。

大分駅から西側の鉄道残存敷については、市民がそれぞれの目的に合わせて集う「にぎわい」や「憩い」の場を連続させていくことにより、西大分駅やかんたん港園に至るルートにおける魅力創出を図ることを目的に整備・活用事業を進めています。今年度、日豊本線西側残存敷の東側区間の工事に着手しました。令和6年度の完成を目指し整備を進めていきます。

交通不便地域から最寄りの停留所までを結ぶ「ふれあい交通」については、要望のあった上白木地区においてルートを新設し、令和3年9月から運行を開始しました。また、バス路線維持のため、大分交通株の路線バス(机張原線、杵原線)へ補助を行っています。



「顔の見えるまちづくり事業」「子育て応援事業」がコロナ禍で・・・

西部地区ではこれまで「タヤけ小やけのまちづくり」をテーマに地域まちづくり実行委員会と行政が協働して講演会などの各種イベントを開催してきたほか、各地区・各自治区でも地元が主体となってお祭りや環境美化活動等多彩な住民参加のイベントを開催してきました。

また、子育て応援事業として「春日子育てサークル」「大道ちびっこサークル」が現在活動しており、訪問支援やボランティアの育成を行っています。

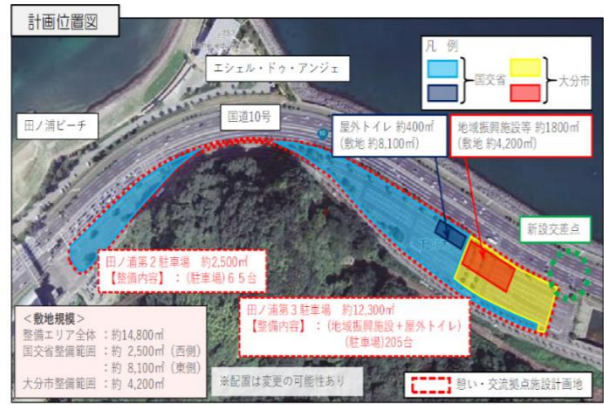
しかし、令和3年2月に予定していた「タヤけ小やけのまちづくり講演会」や「学びの広場事業」をはじめ多くのイベントや活動が新型コロナウイルス感染症の影響により中止・縮小を余儀なくされました。

令和4年度の事業実施に向け、コロナ感染症の終息を願いつつ準備をしていきます。

提言2 観光/地域資源を最大限に生かした観光振興

大分市西部海岸地区憩い・交流拠点施設整備事業は、本市西部海岸地区の魅力さをさらに高め、観光客の増加などの新たな活力を呼び込むための「憩い・交流拠点施設」を整備することにより、観光における本市の玄関口としての機能確保による賑わいの創出と周遊の促進を図ることを目的としています。

今後、令和4年度に設計、令和5年度に工事を行い、令和6年度の供用開始を目指します。



引き続き田ノ浦ビーチにシェアサイクルのポートを設置しています。令和2年度は、かんたん港園ポートを新たに設置するなど、西部地区において年度内に14か所から21か所へポート数を拡大しました。高崎山ポートは利用者が少なかったため廃止しましたが、引き続き利用状況を勘案し、適切なポート設置に努めていきます。

提言3 教育・スポーツ/豊かな自然環境での教育、スポーツ交流の推進

八幡校区「やはたの蛍光ふたたび事業」(祓川の浄化と小学生への環境教育)では竹炭窯(祓川浄化用竹炭作成)を新しく令和元年度に整備しました。令和2年度は自治会が竹炭を作り、八幡小学校の4年生が袋詰めし、全校生徒に配布しました。家庭での使用を通じて環境教育につなげています。



西部スポーツ交流広場では、令和2年度にAグラウンドの人工芝化、Bグラウンドの日除けを設置しました。人工芝グラウンドは今年1月4日から一般供用を開始しました。令和3年度は、Aグラウンド西側駐車場に日よけベンチの設置工事を行っています。(令和4年2月上旬完成予定) 今後、多目的広場の駐車場整備についても検討を進めていきます。

提言4 防災/巨大地震の発生に伴う津波への備え

別府湾沿いでは、巨大地震や津波などの自然災害を想定した避難対策を、日ごろから心掛けることが重要です。津波が発生した際、近くの高台へ避難できるよう高崎山、うみたまごに令和2年3月、避難用の掲示板を設置しました。別大国道の利用者の津波避難場所としての、立体駐車場の整備については、現行の駐車場の利用状況や費用対効果を勘案しながら検討する必要があります。



意見交換の主な内容(抜粋)

- ・ホーバー基地建設を起爆剤として、高崎山やうみたまごなど西大分地区の観光振興策をビジョンの中で取り組んでほしい。
- ・西部スポーツ交流広場の駐車場整備を行うことにより多くの人が集まってスポーツ交流ができるような場所にしてほしい。

「ふれあい市長室～あなたの地域のまちづくりビジョン～」を開催

今年度は、地域でまちづくりビジョンに関連した活動を行う団体を対象に、活動報告と意見交換を行います。
開催日：令和4年2月上旬
対象団体：「西部地区総合安全対策協議会」「王子中町健康教室」「住吉川のホタルを増やす会」

～地域再発見～

西部スポーツ交流ひろばの近くに「住吉川源流の碑」があるんです！お近くにお越しの際、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。(駐車スペースはありませんのでご注意ください)

